

埋文 あらかると

出張埋文センター

◆出張埋文センターってなに？

当センターでは、春から夏の企画展、秋から冬の特別展とさまざまな切り口で展覧会を行っています。さらに、一般県民を対象とした「県民考古学講座」、夏休みの児童を対象とする「ふるさと考古学教室」を開催しています。

しかしながら、距離的な問題から当センターまでなかなか来られない人たちも多くなります。「出張埋文センター」は、市町村教育委員会と連携しながら当センターが保有する資料などを地域で展覧会や体験コーナーを開催するもので2年目を迎えました。

◆出張埋文センターinおとぎの森

夏休み後半の8月20日(日)に高岡市南部地域公民館と高岡市教育委員会の依頼で高岡市おとぎの森公園ガイダンス施設で「出張埋文センター」を開催しました。

地元公民館との打合せでは、北陸



新幹線を建設した際にどのような調査が実施されたか、付近にどのような遺跡があるか知りたいという2つの要望がありました。このことから当センターからは北陸新幹線で調査した遺跡(下黒田遺跡・下佐野遺跡・蔵野町東遺跡)出土品、高岡市からは3地区内で調査を実施した遺跡の展示を行いました。

会場がおとぎの森公園ということもあり270名もの見学者が一日でありました。見学者からは、普段、目

にすることのない遺跡の出土品が手の届く範囲に展示されたこと、また出土した際の様子などが調査した担当者などから聞いたことがよかったなどの声がありました。

親子でまが玉づくりを行う姿や土器パズルを楽しむ姿などさまざまでしたが、展示品を見ながらクイズを解くクイズラリーには設定年齢を大人向けとしていたにも関わらず、来場した小学生も熱心に解いていました。

このように夏休みのひと時の場を提供し、親子で楽しみながら歴史の一端に触れていただくことができました。今後は、地区センターやショッピングセンターの一角で開催するなどさまざまなバリエーションを考えています。(高橋 真実)

